

「様式2」作成にあたっての参考資料（案）

- ・「様式2」に被災情報を記入する際の参考として、「様式2」における「被災情報」欄の選択肢に対応した被害状況について、写真等を用いて例示したものです。
- ・「発災時チェックシート※」に点検結果を記入する際にも活用できるよう、「発災時チェックシート」の「点検内容」欄の選択肢とも対応させています。
- ・本資料は「様式2」作成にあたっての参考資料であり、建物調査や立入、継続使用の可否等の判定が難しい場合は、本資料の例示に関わらず安全側に判定するようお願いします。

※「業務継続のための官庁施設の機能確保に関する指針」付録

なお、「発災時チェックシート」については、「様式2」との整合を図り、今後改定を行う予定です。

・「様式2」の各点検項目と「業務継続のための官庁施設の機能確保に関する指針」付録にある「発災時チェックシート」に基づく点検内容との対比については以下のとおり。

点検項目	(様式2) 記号	(様式2) 被災情報	(発災時チェックシート) 点検内容	該当項目		判定		
				RC造	S造			
0・建物調査可否	①建物の状況	あ	火災又は火災の恐れ(煙、ガス臭)	火災が発生している。	●	●		
				煙が出ている。	●	●		
				ガスのおいがする。	●	●		
	②敷地及び周辺状況	い	建物浸水	建物浸水している。	●	●		
				浸水・冠水	敷地及び周辺道路が浸水している。	●	●	
				地盤の液状化	液状化している。	●	●	
				地盤の崩壊	周辺地盤が崩壊している。	●	●	
その他	隣接建築物や鉄塔等が庁舎の方向に傾いている。	●	●					
	津波警報の発令等により建物に近づけない。	●	●					
1・危険と判断できる被害	①建物(外観)	え	倒壊・崩壊	基礎の崩壊・上部構造とのずれ。	●	●		
				建物全体又は一部が崩落・落階している。	●	●		
			傾斜	建物全体又は一部が傾斜している。	●	●		
2・建物外部の被害	①建物外部の構造躯体	お	コンクリートのひび割れ・剥落・鉄筋露出	斜めやX字形のひび割れがあり、コンクリートが部分的に剥落している。	●			
				大きなX字状のひび割れが多数あり、コンクリートの剥落も著しく、鉄筋がかなり露出している。壁の向こう側が透けて見える。	●			
			鉄骨柱梁・筋交い又はその接合部の変形、亀裂、破断	鉄骨柱梁、筋交い又はその接合部に部分的な変形、亀裂が見られる。		●		
				鉄骨柱梁、筋交い又はその接合部に顕著な変形が見られ、破断している。		●		
	②落下危険物	か	窓ガラスのひび割れ・落下	窓ガラスがひび割れしている。窓枠が歪んでいる。	●	●		
				窓枠が変形しガラスが落下しそうである。	●	●		
		き	外装材のひび割れ、落下	部分的なひび割れ、はがれなどがあり落下しそうである。	●	●		
				顕著なひび割れ、はがれなどがあり落下しそうである。	●	●		
		く	看板・機器類の損傷・落下	庇、渡り廊下、看板、外灯、塀などに傾きがある。	●	●		
				庇、渡り廊下、看板、屋上工作物、室外機、外灯などが落下しそうである。	●	●		
3・建物内部・ライブラインの被害	①建物内部の構造躯体	け	コンクリートのひび割れ・剥落・鉄筋露出	斜めやX字形のひび割れがあり、コンクリートが部分的に剥落している。	●			
				大きなX字状のひび割れが多数あり、コンクリートの剥落も著しく、鉄筋がかなり露出している。壁の向こう側が透けて見える。	●			
			鉄骨柱梁・筋交い又はその接合部の変形、亀裂、破断	鉄骨柱梁、筋交い又はその接合部に部分的な変形、亀裂が見られる。		●		
				鉄骨柱梁、筋交い又はその接合部に顕著な変形が見られ、破断している。		●		
	②建物内部	こ	天井落下	天井材が落下している。	●	●		
		さ	漏水	漏水が発生している。	●	●		
		し	その他	その他の損傷がある。	●	●		
	③商用電源	ず	非常用発電設備稼働中	正常に稼働している。	●	●		
		せ	停電	停止している。(商用電源の途絶時)	●	●		
	④のトイレ	そ	断水	水道(給水・排水)、水洗が使用できない。	●	●		
	⑤被害の	た	有	空調・換気が停止している。その他設備に、燃料漏れ、水漏れ等の異常がある。	●	●		

【判定記入凡例】 ○:はい、×:いいえ、-:項目該当なし

0. 建物調査可否

① 建物の状況

様式2の 被災情報	状況例	発災時チェックシート	
		点検内容	対処・応急 対応の例
【あ】 火災又は 火災の恐れ (煙・ガス臭)	・建物または階全体に 広がりそうな火災。	火災が発生している。	⇒調査不可・建物退去 消防機関に通報
	・建物または階全体に 広がりそうな煙。	煙が出ている。	⇒調査不可・建物退去 消防機関に通報
	・建物または階全体に 漂うガス臭。	ガスのにおいがする。	⇒調査不可・建物退去 ガス会社等に通報
【い】 建物浸水	・津波・洪水・高潮で 浸水している。	建物が浸水している。	⇒調査不可・安全な場 所に避難
	・津波・洪水・高潮で 浸水した。		⇒スイッチ電源をON、 OFFすることなく維持 管理受託者等、専門家 に調査を依頼

② 敷地及び周辺状況

様式2の 被災情報	状況例	発災時チェックシート	
		点検内容	対処・応急 対応の例
【う】 浸水・冠水	<ul style="list-style-type: none"> ・津波・洪水・高潮で浸水している。 	敷地や周辺 道路が浸水 している。	⇒状況を安 全側に判断 し避難又は 点検を継続
【う】 地盤の 液状化	 <ul style="list-style-type: none"> ・地盤の液状化により、建物に近づくことができない。  <ul style="list-style-type: none"> ・マンホール等が浮き上がっている。※ 	液状化して いる。	⇒調査不可 ・安全な場 所に避難 ※建物の調 査が可能で あれば調査 続行

② 敷地及び周辺状況

様式2の 被災情報	状況例	発災時チェックシート	
		点検内容	対処・応急 対応の例
【う】 地盤の崩壊	 	<p>周辺地盤が崩壊している。</p>	<p>⇒立入不可 ・建物退去</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 背後に崩壊しそうなガケや斜面があり一見して危険であると判別される場合。 ・ 敷地地盤が崩壊する危険性がある場合など。 		
【う】 その他		<p>隣接建築物や鉄塔等が庁舎の方向に傾いている。</p>	<p>⇒立入不可 ・建物退去</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 隣地建物が庁舎の方向に傾いている。又は接触している。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 津波警報が発令されている、その他、洪水・高潮、原子力災害、土砂災害、火山災害等による避難勧告エリアに指定されている。 	<p>津波警報の発令等により建物に近づけない。</p>	<p>⇒調査不可 ・建物退去</p>

1. 外観を一見して危険と判断できる被害

① 建物（外観）

様式2の 被災情報	状況例	発災時チェックシート	
		点検内容	対処・応急 対応の例
【え】 倒壊・崩壊	 <ul style="list-style-type: none"> ・ 建物の浮き上がり 又は地盤が沈下し 基礎や杭の破壊が みられる。 	基礎の崩壊 ・ 上部構造 とのずれ。	⇒立入不可 ・ 建物退去
	 <ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎と上部構造の 境目でずれている。 		
【え】 倒壊・崩壊	 <ul style="list-style-type: none"> ・ 崩壊又は 落階して いる場合。 	建築全体 又は一部が 崩落・落階 している。	⇒立入不可 ・ 建物退去
			
【え】 傾斜		建築全体 又は一部が 傾斜してい る。	⇒立入不可 ・ 建物退去

2. 建物外部の被害

① 建物外部の構造躯体

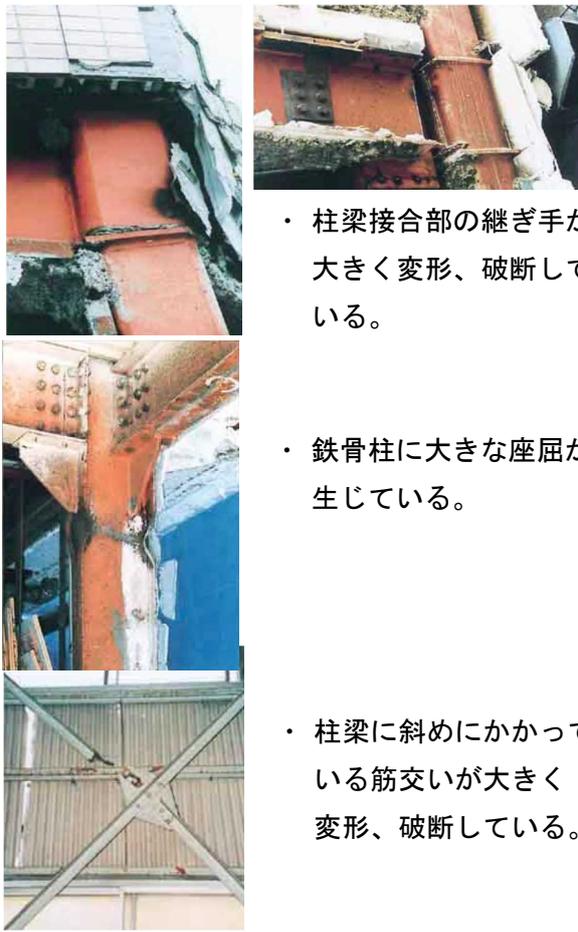
- ・ 構造躯体の損傷状況については、被害の最も大きい階を調査します。
- ・ 柱と梁の構造では最も被害のあった柱に着目して判定します。

<鉄筋コンクリート造の場合>

様式2の 被災情報	状況例	発災時チェックシート	
		点検内容	対処・応急 対応の例
	 <ul style="list-style-type: none"> ・ 仕上げモルタルはかなり剥落しているが、柱のコンクリートの剥落は少ない。 	<p>斜めやX字形のひび割れがあり、コンクリートが部分的に剥落している。</p>	<p>⇒要注意・ 専門家へ調 査を依頼</p>
<p>【お】 コンクリートのひび割れ・剥落・鉄筋露出</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ・ 柱が切断している。 ・ コンクリートの顕著な剥落と鉄筋の広範囲の露出。 ・ 壁に大きなせん断ひび割れが生じ、壁の向こう側が透けて見える。 	<p>大きなX字状のひび割れが多数あり、コンクリートの剥落も著しく、鉄筋がかなり露出している。壁の向こう側が透けて見える。</p>	<p>⇒立入不可 ・建物退去</p>

① 建物外部の構造躯体

<鉄骨造の場合>

様式2の 被災情報	状況例	発災時チェックシート	
		点検内容	対処・応急 対応の例
	 <ul style="list-style-type: none"> ・ 柱に塗装がはがれる程度の座屈が生じている。 ・ 露出柱脚に軽微な損傷がある。 ・ 柱梁に斜めにかかっている筋交いに変形している。少数である。 	鉄骨柱梁、筋交い又はその接合部に部分的な変形、亀裂が見られる。	⇒要注意・ 専門家へ調査を依頼
<p>【お】 その他</p> <p>鉄骨柱梁・筋交い又はその接合部の変形、亀裂、破断</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ・ 柱梁接合部の継ぎ手が大きく変形、破断している。 ・ 鉄骨柱に大きな座屈が生じている。 ・ 柱梁に斜めにかかっている筋交いが大きく変形、破断している。 	鉄骨柱梁、筋交い又はその接合部に顕著な変形が見られ、破断している。	⇒立入不可 ・建物退去

② 落下危険物

様式2の 被災情報	状況例	発災時チェックシート	
		点検内容	対処・応急 対応の例
【か】 窓ガラスの ひび割れ・ 落下	 <ul style="list-style-type: none"> 窓枠のゆがみや、ひび割れ、剥離などみられるが、低所等であり落下による二次被害が軽微であると想定される場合。 	窓ガラスがひび割れしている。窓枠が歪んでいる。	⇒ 要注意 (危険部の立入り禁止処置とメンテナンス業者に対応を依頼)
	  <ul style="list-style-type: none"> 窓枠のゆがみや、ひび割れ、剥離などの程度が著しく、落下による二次被害の危険性がある場合。 	窓枠が変形しガラスが落下しそうである。	⇒ 落下しそうな部分は立入り禁止処置

② 落下危険物

様式2の 被災情報	状況例	発災時チェックシート	
		点検内容	対処・応急 対応の例
【き】 外装材の ひび割れ・ 落下	 <ul style="list-style-type: none"> ・モルタル壁やタイル等の部分的なひび割れ、剥離がみられるが、低所等にあり落下による二次被害が軽微であると想定される場合。 	部分的なひび割れ、はがれなどがあり落下しそうである。	⇒ 要注意 (危険部の 立入り禁止 処置と メンテナンス業者 に対応を 依頼)
	 <ul style="list-style-type: none"> ・モルタル壁やタイル等の部分的なひび割れ、剥離がみられ、落下による二次被害の危険性がある場合。 	顕著なひび割れ、はがれなどがあり落下しそうである。	⇒ 落下しそうな部分は立入り禁止 処置

② 落下危険物

様式2の 被災情報	状況例	発災時チェックシート	
		点検内容	対処・応急 対応の例
【く】 看板・機器 類の 損傷・落下	 <p>・看板・機械類の傾斜がみられるが、低所等 あり、落下による二次被害が軽微であると 想定される場合。</p>	庇、渡り廊下、看板、 外灯、塀な どに傾きが ある。	⇒要注意 （危険部の 立入り禁止 処置とメン テナンス業 者に対応を 依頼）
	 <p>・瓦等の屋根材、バルコニー、屋外階段、 庇及び設備機器等の被害があるが、低所 等であり、落下による二次被害が軽微で ある、又は使用に耐えうると想定され る場合。</p>		
【く】 看板・機器 類の 損傷・落下	 <p>・看板・機械類の傾斜がみられ、落下による 二次被害の危険性がある場合。</p>	庇、渡り廊下、看板、 屋上工作 物、室外機、 外灯などが 落下しそ うである。	⇒落下しそ うな部分は 立入り禁止 処置
	 <p>・ブロック塀や煙突等の転倒の危険性がある 場合。</p>		

3. 建物内部・ライフラインの被害

① 建物内部の構造躯体

様式2の 被災情報	状況例	発災時チェックシート	
		点検内容	対処・応急対応の例
【け】 コンクリートのひび割れ・剥落・鉄筋露出等	「2. 建物外部の被害 ①建物外部の構造躯体」に準じる。		

② 建物内部

様式2の 被災情報	状況例	発災時チェックシート	
		点検内容	対処・応急対応の例
【こ】 天井落下	・天井が波打っており、空調機器や照明器具など天井に固定されていたものや天井材そのものが外れかかっている。	天井材が落下している。	⇒立入禁止処置 ⇒落下物の防止処置等
【さ】 漏水	・天井やパイプシャフト（設備配管が収められている）から、水又は油などが染み出ている。 ・パイプシャフトからガス臭又は油臭がする。	漏水が発生している。	⇒立入禁止処理 ⇒ガス、油、水の供給遮断 ⇒水栓の遮断、清掃
【し】 その他	・壁が大きく膨らんでいる。 ・壁仕上げ材が剥がれそう。	その他の損傷がある。	⇒状況を安全側に判断し立入禁止処置

③ 商用電源

様式2の被災情報	状況例	発災時チェックシート	
		点検内容	対処・応急対応の例
【す】 非常用発電設備稼働中	・ 運転中の非常用発電機に、異臭、異音、発煙などの状況は生じていない。	正常に稼働している。	⇒点検継続
【せ】 停電	・ 非常用発電設備が停止している。 ・ 警報ランプ、ブザーが点灯、鳴動している。	停止している。 (商用電源の途絶時)	⇒維持管理受託者、機器メーカー等へ緊急対応を要請する。
	・ 非常用発電設備の設置なし。		

※広域の停電か、建物だけの電力供給停止状態かの確認は、周囲の信号機や照明（夜間）などの公共物により確認する。

④ トイレ等の給水

様式2の被災情報	状況例	発災時チェックシート	
		点検内容	対処・応急対応の例
【そ】 断水	・ 蛇口を捻っても水が出ない。 ・ 水洗便所の水が出ない。 ・ 洗面器や便器の排水が流れない。	水道（給水・排水）、水洗が使用できない。	⇒災害対策トイレの準備、給水・排水設備の機能確認。

⑤ その他の被害

様式2の被災情報	状況例	発災時チェックシート	
		点検内容	対処・応急対応の例
【た】 有	・ サーバールーム等の周辺含め通電しているが空調機が停止している。 ・ 異臭、異音、煙が発生している。	空調・換気が停止している。	⇒停電の影響で停止している場合は手動により再起動する。 空調・換気が動作しない状況でも電気室内の室温がサーバールーム、通信装置の許容室温以下となる場合には継続使用が可能。
	・ 燃料漏れ、水漏れ等が発生している。	その他設備に、燃料漏れ、水漏れ等の異常がある。	⇒ガス、油、水の供給遮断



■ 国土交通省への連絡事項 ■

建物被害の有無	1項目でも被害があった場合は「有」を選択して下さい。
建物の継続使用の状況	災害応急対策業務等を実施する執務空間等の被害状況について「3. 建物内部・ライフラインの被害」を総合的に勘案して「様式2」に記入して下さい。
現地調査の要否	国土交通省による現場調査が必要な場合、その理由を簡潔に記入して下さい。

執務空間等は、以下のエリアです。

執務空間	用途等
災害対策本部	非常時優先業務の指揮及び情報伝達を行うための拠点。
応急業務エリア	災害応急対策業務を行うエリア。 災害復旧、復興業務のうち早期実施優先度の高いものを行うエリア。
一般継続重要業務エリア	通常業務のうち業務継続の優先度の高いものを行うエリア。

<出典>

- ・(NPO)氷河・雪氷圏環境研究舎“石巻の津波災害現況(上)”成瀬廉二氏ブログ
- ・建築防火協会.“被災建築物応急危険度判定マニュアル“
- ・鹿島建設.“鹿島紀行—第9回王滝村災害復興“鹿島建設ホームページ
- ・MyFunaネット.“千葉県東方沖で地震発生／湊町” 2011 ホームページ
- ・新潟県長岡市.“新潟県中越大震災関連情報“2008/10/24 新潟県ホームページ
- ・三重県建築士事務所協会資料より
- ・神戸市“阪神・淡路大震災「1.17 の記憶」” 神戸市ホームページ
- ・神戸大学付属図書館“震災文庫”神戸大学付属図書館ホームページ
- ・福岡教育大学“2005年3月20日福岡県西方沖地震” 福原 達人教授ブログ